防災ラジオ　よくある質問

質問１

防災ラジオから音声（放送内容）が聞こえなくなりました。故障でしょうか？

答え

はじめに、防災ラジオを正しく使用できているかを御確認ください。手順は次のとおりです。

① 防災ラジオ正面向かって左側面に黒いアンテナが取り付けられているかを確認してください。

② 防災ラジオ正面向かって右側面にあるボリューム（音量）の設定が小さくなりすぎていないかを確認してください。

③ 防災ラジオの AC アダプターがコンセントに接続されているかを確認してください。

④ 防災ラジオ裏側の電池ブタを開けて、乾電池（３本）が入っているかを確認してください。

これらを確認しても正常に作動しない場合は、防災ラジオ裏面に記載している
販売元（東京テレメッセージ株式会社：03-5733-0209）
までお問い合わせください。

質問２

防災ラジオの AM・FM 放送の受信感度が悪いのですが、故障でしょうか？

答え

故障ではありません。AM・FM 放送の受信感度は防災ラジオの設置場所によって変わります（防災ラジオに受信感度を高める機能はありません）。

なお、AM 放送の受信感度は防災ラジオ本体の向きを変えることで改善できる場合があり、FM 放送の受信感度は FM アンテナ（銀色）を伸ばし、向きを調整することで改善できる場合があります。

質問３

防災ラジオから流れる音声を聞き逃しました。もう一度音声を確認する方法はありますか？

答え

聞き逃した音声は、防災ラジオの“聞き直し”ボタンを押すことで、何度でも聞き直すことができます（ただし、直前に受信した音声のみ聞き直しが可能です）。

質問４

防災ラジオは乾電池だけで動かせますか？

答え

防災ラジオをご使用いただく際は**「AC アダプターをコンセントに接続する」、「乾電池を内蔵する（入れる）」**ことの２つが必須です。

これにより、普段はコンセントに接続した AC アダプターから電気を取り、災害時（停電時）には内蔵している乾電池に自動で切り替えることができます。

なお、乾電池のみで防災ラジオを使用すると、概ね３日で乾電池の交換が必要となりますが、普段は AC アダプターから電気を使用しているので、乾電池は消耗（自然放電を除く）しません。災害時（停電時）に備えて乾電池を備蓄しておくことをおすすめします。

◆　防災行政用無線（屋外スピーカー）や防災ラジオで放送する内容

災害時の放送
・Ｊアラート（緊急地震速報（市内で震度５弱以上が予想されたとき）、大津波警報、津波警報、津波注意報、気象庁が発表する特別警報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮））※ ・気象庁が発表する危険警報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮） ・気象庁が発表する警報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮） ・市が発令する避難情報 ・避難所の開設情報　など
平常時の放送
・行方不明者の捜索協力依頼 ・振り込め詐欺の注意喚起 （市内で詐欺と思われる不審電話が集中発生した場合など） ・光化学スモッグ注意報等の発令に伴う周知　など



※全国瞬時警報システム（J-ALERT）と連動した自動放送です 。

◆　その他の情報収集の手段

防災行政用無線（屋外スピーカー）や防災ラジオの他にも、様々な手段を用いて市民の皆様に情報発信を行っています。災害時は、「自分の身は自分で守る」ことが大切です。　複数の手段を活用し、情報を入手してください。

ちがさきメール配信サービス

携帯電話やスマートフォン、パソコンなどに放送内容をメール配信します。（要登録）

テレビ神奈川（ｔｖｋ）データ放送

テレビ神奈川（ｔｖｋ）の画面では、リモコンの「ｄ」ボタンを押すと表示される「マイタウン情報」で、放送内容を確認できます。

茅ヶ崎市情報サイト

Ｗｅｂサイト上で放送内容を確認できます。

防災・緊急情報

防災行政用無線の放送内容の他に、災害時の市からのお知らせや気象情報等、様々な情報を提供しています。